

「グリーン電力」でCO2削減に貢献

ロイヤルホールディングス(株)では、2020年3月よりバイオマス発電所で発電したグリーン電力をサミットエナジー(株)様より購入し、東京本部で利用しています。

これにより年間で約137トンのCO2排出量削減効果があります。

※ バイオマス発電とは、樹木由来の資源(建築廃材や災害がれきなど)を燃焼する際の熱を利用して電気を起こす発電方式のこと。樹木はCO2を吸収して生長するので、理論上CO2を排出せず発電できる仕組み。

グリーン電力証書
The Certificate of Green Power

ロイヤルホールディングス株式会社 殿

Serial NO.058008-2004-2006-01419394A04 ~ 058008-2004-2006-01716080A04

みどりの電気

この証明書は、ロイヤルホールディングス株式会社の委託を受けて日本国内において296,687kWhのバイオマス発電を行ったことを証する。

発電電力量: 296,687kWh
Generated power

発電期間: 2020年4月15日~2020年6月30日まで
Power generation period

発電方法: バイオマス発電
Type of power generation

サミットエナジー株式会社
Summit energy

発行日: 2020年4月23日

☛ グリーン電力証書とは

風力・太陽光・水力・地熱・バイオマス(生物資源)など、再生可能エネルギーより発電された電力をグリーン電力といいます。

グリーン電力は、省エネルギー(化石燃料の節減)やCO2排出抑制といった付加価値(環境価値)を持った電力です。

この環境価値を証書化(グリーン電力証書)して取引することで、CO2削減に貢献する仕組みとなっています。



ロイヤルグループはSDGs達成に向け、グリーン電力証書によって付加価値のある電気を利用し、再生可能エネルギーの普及・拡大を応援してまいります。

「脱炭素社会」の実現をはじめ、事業活動を通して、今後もさまざまな社会課題の解決に取り組んでまいります。

出典：サミットエナジー(株)様

ロイヤルグループのCSR情報配信中 → → → Click!



ロイヤルグループは、国連が定める2030年までのSDGsの達成に繋がる環境アクションに賛同し、「脱炭素社会」実現の取り組みを通して、SDGsの目標7・13に貢献します。